



NO.2

奈良県 環境森林部 脱炭素・水素社会推進課②

テーマ

住民の日常行動を
脱炭素につなげる仕組づくり



住民の日常行動を脱炭素につなげる 仕組みづくり



奈良県 脱炭素・水素社会推進課

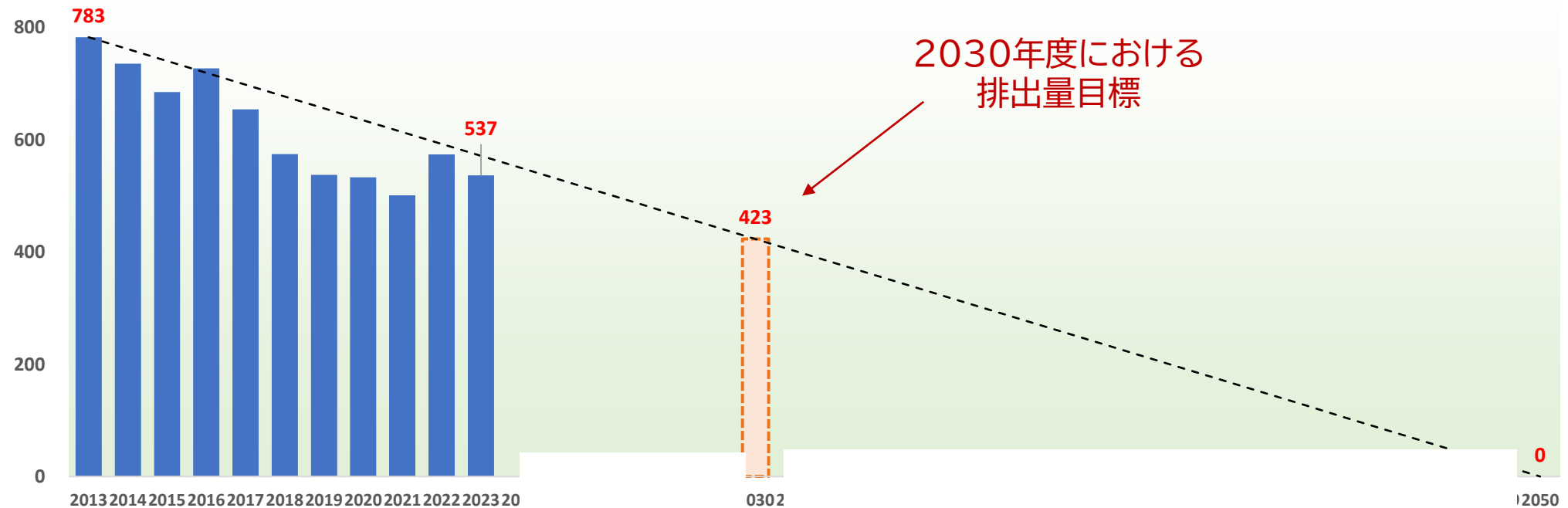
奈良県の脱炭素の現状について

奈良県は、2050年までに県内温室効果ガス排出量を実質ゼロとする
「ゼロカーボンシティの実現」を目指しています。

(万t-CO₂)

1,000

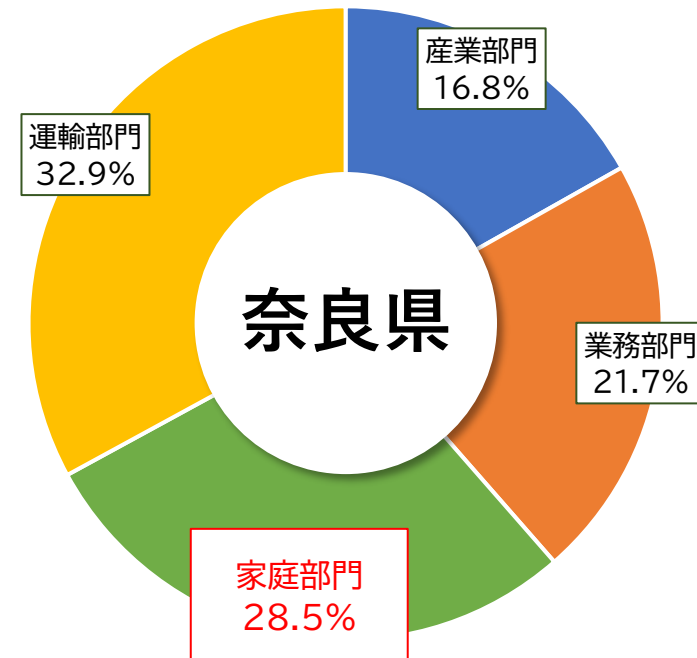
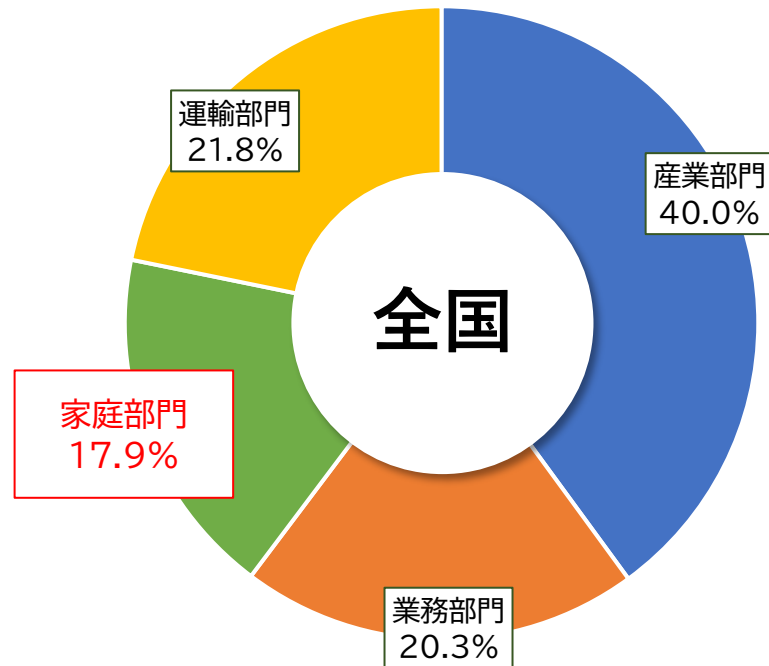
県内温室効果ガス排出量の年間推移



奈良県の脱炭素の現状について

奈良県の排出量の構成を見ると、全国に比べて産業部門の割合が低く、
家庭部門の割合が高いことが特徴です。

部門別CO₂ 排出割合



奈良県の脱炭素の取組

補助金



蓄電池やV2H等への補助

アドバイザー派遣



学校等への環境出前講座

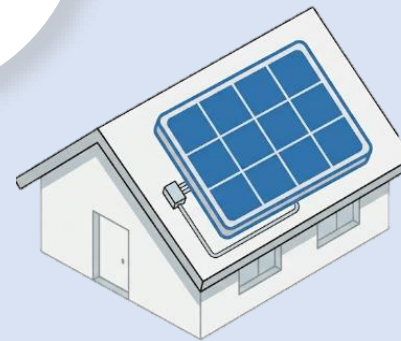
奈良県の取組

イベント・セミナー



プロスポーツチームとの
コラボイベントの開催

その他



太陽光パネルの
共同購入



スマホアプリによる
行動変容促進

イベントの満足度は高いけれど、参加者にとって
ちゃんと**持続的な行動変容につながっているのだろうか。。？**

普及啓発は「しなければならない」という義務感をあおり、
心理面・行動面・金銭面の観点から限界があるのでは。。？



脱炭素社会実現に向けた新たなアプローチ

義務感を与えず、気づいたら

自ずと脱炭素へ貢献している街へ



日常の行動からエネルギーを回収し、義務感なしで住民が自然と脱炭素に参加できる街を実装できないか。

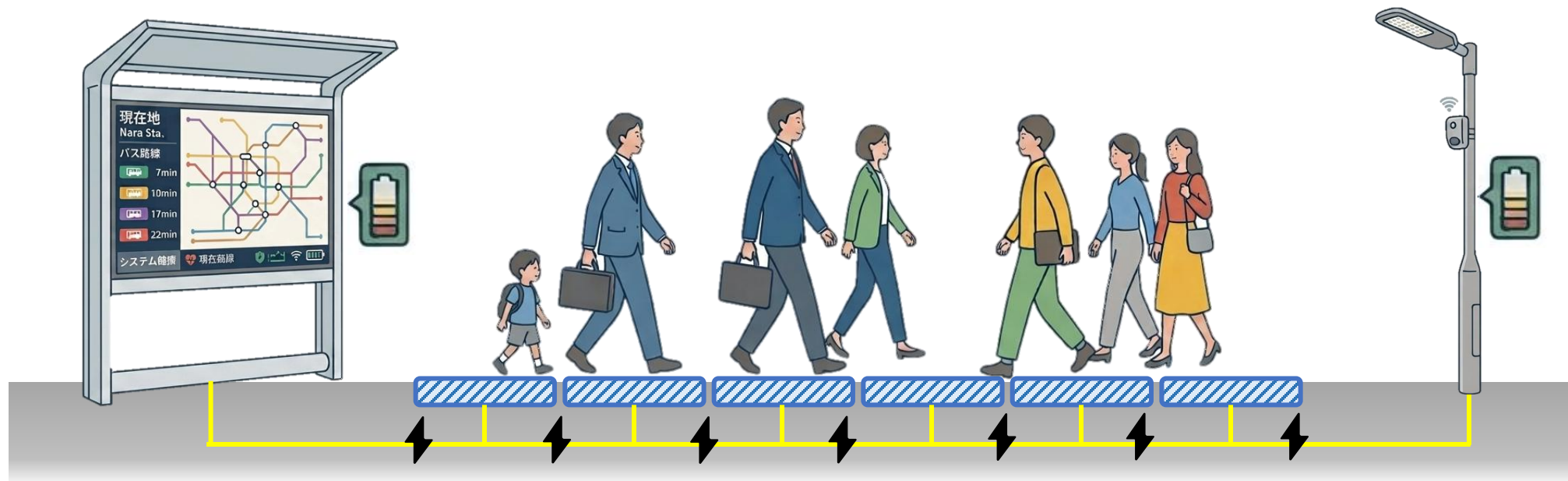


エネルギーハーベスティングとは…

身の回りにある光、熱(温度差)、振動(歩行など)、電波、音といった、日常で使われずに捨てられている微小なエネルギーを収穫(ハーベスト)して電力に変換する技術のこと

共創イメージ①：エネルギーハーベスティングの社会実装

事例：発電床を活用した公共設備等への電力供給



- ・ 人通りの多い場所に発電タイルを設置。足踏みの振動で発電を行う。
- ・ 日中に貯められた電気は夜間の照明等に活用。

共創イメージ②：ナッジを応用した行動変容

行動経済学の知見を活かし、無理なく参加できる仕掛けを作り、住民の自発的な環境行動を促す仕組みを実装できないか。



ナッジとは…

行動経済学や心理学の概念で、強制や罰則を使わずに、人の心理的なクセや行動特性を利用して「ついつい望ましい行動をとってしまう」ように環境や選択肢をデザインする手法

共創イメージ②：ナッジを応用した行動変容

事例①：視覚的誘導によるポイ捨て削減と美化施策



■ コペンハーゲン（デンマーク）：「緑の足跡」

- ・ 街中で、ゴミ箱に向かって床に鮮やかな「緑色の足跡」をペイント。さらに、ゴミ箱自体も目立つ緑色にペイント。
- ・ 人間の『並んでいる足跡を追いたくなる』という心理的特性を利用することで、街のポイ捨てが46%減少。

共創イメージ②：ナッジを応用した行動変容

事例②：本能的心理を応用したトイレの美化・維持管理効率化



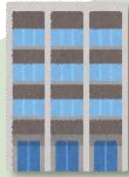
アムステルダム・スキポール空港（オランダ）：

- ・ 男性用トイレの小便器に黒いハエの絵を描いたことで、汚れが80%減少。
- ・ 年間7億円かかっていた清掃費の2割(約1.5億円)が削減。

社会実装に向けた3ステップ

ステップ1（体験・認知の場づくり）

県主催のイベントを活用し、スタートアップの技術や仕掛けをブース等に設置。まずは多くの来場者に体験の場を共創。



ステップ2（庁舎等へのモデル実装）

イベント等での反響も踏まえ、県庁舎や学校の校舎などの公的空間に、実際にその技術や仕掛けを実装。来庁者や子供たちが日常的に触れる中で、どれだけ自然に行動変容が起きるかをモデル的に検証。



ステップ3（社会実装の範囲拡大）

ここまでで得られた知見をベースに、対象範囲を地域や全域へと拡大。「奈良県発の、努力感のない脱炭素習慣化モデル」として確立。将来的には全国の自治体にも横展開。

提供可能なリソース①

県主催のイベント等にて出展スペースを提供し、
その取り組みを県広報媒体を活用して積極的にPRします。



奈良クラブとのコラボイベント
(R7.10月)



イオンモールでの脱炭素啓発イベント
(R7.8月)

提供可能なリソース②

県が橋渡し役となり、県内市町村や、地域の事業者、関係団体等へのネットワークを紹介し、顔つなぎをサポートします。



奈良県脱炭素・水素社会推進協議会
(県内市町村、企業団体等 約110団体で構成)

新しい脱炭素社会の形を一緒に作りませんか？



ご清聴ありがとうございました。